



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月12日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL <http://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	71,094	△0.3	△60	—	△8	—	△200	—
25年3月期第1四半期	71,314	△4.2	△444	—	△389	—	△596	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △223百万円 (-%) 25年3月期第1四半期 △871百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3.66	—
25年3月期第1四半期	△10.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	75,786	14,763	19.5	270.23
25年3月期	68,980	15,314	22.2	280.32

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 14,763百万円 25年3月期 15,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	147,000	0.3	200	—	100	—	50	—	0.92
通期	310,000	2.0	1,100	—	900	—	600	—	10.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	55,622,921株	25年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	989,431株	25年3月期	988,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	54,634,262株	25年3月期1Q	54,643,453株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の状況が続く中、輸出の回復が企業の生産や収益の改善につながり、徐々に雇用・所得環境にも波及しつつあり、緩やかに持ち直してきております。また、個人消費は、企業収益の回復や株高を背景に消費者心理は改善傾向にあり、堅調に推移していますが、消費者の節約志向は依然として強く続いております。

水産物流通業界におきましては、円安の影響による海外水産物の調達コストの上昇や国内水産物の漁獲量の減少など、外部環境の厳しさが続く中、水産物消費が伸び悩み、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は710億94百万円（前年同四半期比99.7%）となりました。損益面では、売上総利益は50億82百万円（前年同四半期比102.8%）となり、営業損失60百万円（前年同四半期は営業損失4億44百万円）、経常損失8百万円（前年同四半期は経常損失3億89百万円）、四半期純損失2億円（前年同四半期は四半期純損失5億96百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売価格の低迷などにより売上高440億79百万円（前年同四半期比98.1%）となりましたが、売上総利益率の改善と間接経費全般の節減によりセグメント利益1億49百万円（前年同四半期はセグメント損失2億17百万円）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売数量は減少したものの販売価格の上昇により売上高267億5百万円（前年同四半期比101.8%）、販売競争の激化や仕入価格の上昇などによる売上総利益率の低下によりセグメント損失1億36百万円（前年同四半期はセグメント損失1億77百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、依然として厳しい販売環境が続く中、積極的に拡販に努め売上高13億72百万円（前年同四半期比126.7%）、給餌効率の改善、間接経費全般の節減に努めましたが、餌料価格の上昇からセグメント損失71百万円（前年同四半期はセグメント損失1億29百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、定塩鮭冷凍製品の安定的な生産拡大を基礎に販売拡大を図り売上高10億99百万円（前年同四半期比105.2%）となりましたが、原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失42百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、通過物量の増加などにより売上高5億20百万円（前年同四半期比101.9%）となりましたが、配送コストの増加等からセグメント損失12百万円（前年同四半期はセグメント損失19百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高11億10百万円（前年同四半期比106.4%）、セグメント利益6百万円（前年同四半期比88.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて68億5百万円増加し、757億86百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加62億25百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて73億57百万円増加し、610億23百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加35億84百万円、借入金の増加38億99百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて5億51百万円減少し、147億63百万円（自己資本比率19.5%）となりました。主な要因は、四半期純損失の計上2億円及び配当金の支払3億27百万円などによる利益剰余金の減少5億22百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,794	1,984
受取手形及び売掛金	27,710	27,943
商品及び製品	16,785	23,011
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	119	118
その他	1,216	1,461
貸倒引当金	△392	△390
流動資産合計	47,234	54,131
固定資産		
有形固定資産	11,807	11,715
無形固定資産	3,408	3,410
投資その他の資産		
投資有価証券	5,639	5,608
その他	2,533	2,554
貸倒引当金	△1,642	△1,634
投資その他の資産合計	6,530	6,528
固定資産合計	21,746	21,654
資産合計	68,980	75,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,098	23,682
短期借入金	15,200	19,450
1年内返済予定の長期借入金	5,240	5,049
未払法人税等	179	95
賞与引当金	643	331
その他	3,562	4,075
流動負債合計	44,924	52,684
固定負債		
長期借入金	2,838	2,678
退職給付引当金	2,475	2,435
役員退職慰労引当金	89	81
その他	3,338	3,141
固定負債合計	8,741	8,338
負債合計	53,665	61,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	2,424	1,902
自己株式	△244	△245
株主資本合計	14,828	14,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	805	772
繰延ヘッジ損益	12	22
土地再評価差額金	△332	△337
その他の包括利益累計額合計	486	456
純資産合計	15,314	14,763
負債純資産合計	68,980	75,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	71,314	71,094
売上原価	66,368	66,011
売上総利益	4,946	5,082
販売費及び一般管理費	5,391	5,142
営業損失(△)	△444	△60
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	86	84
負ののれん償却額	16	—
その他	50	52
営業外収益合計	154	138
営業外費用		
支払利息	84	75
その他	14	11
営業外費用合計	99	86
経常損失(△)	△389	△8
特別損失		
事務所移転費用	39	—
固定資産除却損	—	9
固定資産売却損	—	6
特別損失合計	39	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△428	△24
法人税、住民税及び事業税	69	95
法人税等調整額	100	80
法人税等合計	169	175
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△598	△200
少数株主損失(△)	△1	—
四半期純損失(△)	△596	△200

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△598	△200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△281	△33
繰延ヘッジ損益	7	10
その他の包括利益合計	△273	△23
四半期包括利益	△871	△223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△870	△223
少数株主に係る四半期包括利益	△1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	43,468	25,679	716	392	264	70,521	793	71,314	—	71,314
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,479	551	367	653	246	3,297	251	3,548	△3,548	—
計	44,948	26,231	1,083	1,045	510	73,819	1,044	74,863	△3,548	71,314
セグメント利益 又は損失(△)	△217	△177	△129	△41	△19	△584	7	△577	132	△444

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額132百万円には、セグメント間取引消去316百万円、のれんの償却額△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	42,557	26,027	1,027	423	271	70,307	786	71,094	—	71,094
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,522	677	344	676	249	3,470	324	3,794	△3,794	—
計	44,079	26,705	1,372	1,099	520	73,778	1,110	74,889	△3,794	71,094
セグメント利益 又は損失(△)	149	△136	△71	△42	△12	△114	6	△107	47	△60

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額47百万円には、セグメント間取引消去306百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△258百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。